

令和4年度第2回 にいがた住まい環境基本計画推進有識者会議
 (議題1.次期新潟市住生活基本計画の策定について)

質問・意見・回答

番号	発言者	質問・意見等	回答
1	小池副委員長	基本目標①-2「高齢者等が安心して暮らせる住まいづくり」のアウトカム指標で、「高齢者が居住する住宅の一定のバリアフリー化率」とあるが、障がいのある方が居住する住宅のバリアフリー化の状況も併せて位置づけることはできないか。	障がいのある方が居住する住宅のバリアフリー化の状況を示す統計データがないためアウトカム指標として位置付けることは難しいと考えています。 障がいのある方にとってもバリアフリー化は重要なことであるため、アウトプット指標で、モニタリングしていきたいと考えています。
2	朝妻委員	総合指標について、住宅が安心・安全で快適であると思う市民の人数で評価することは可能か。	総合指標は市民約 4,000 人を調査対象としています。年度ごとに回答率が異なるため、指標の評価は人数ではなく割合とさせていただきたいと考えています。
3	上野委員	耐震化や老朽化への対応を市民へ提案していかなければならないと改めて感じた。	【意見のため回答不要】
4	佐藤委員	耐震化率が高いことが実感としてなかったため、数値と示していただきありがたい。	【意見のため回答不要】
5	高松委員	アウトカム指標が緻密に作られていて感心した。今後の方向性として、SDGS についてもう少し重点的に考えていけたらいいと思う。	【意見のため回答不要】 (住生活基本計画に掲げる住宅施策を推進することで、SDGs の達成に貢献していくため、「第5章 施策の展開」において、各施策の方向性と関連する主な目標を示しています。)
6	山田委員	アウトカム指標について、区単位で具体的な数値を追うことは可能か。	アウトカム指標は、全市の状況を評価するための指標として設定させていただきますが、次回の調査結果を報告させていただく際には、各区の状況についても併せて報告させていただきます。